

# 情報通信・ワイン・オーディオ

理工学部 教授 笹瀬 巖

情報通信技術の急速な発展に伴い、文化の薫り高い心豊かな社会の実現が大きい期待されている。大きな時代の変化に直面した状況では、過去の延長線上で物事を考え判断を下すことは難しい。的確に状況を理解し問題を解決する能力を生み出す源泉は、自分の頭でいろいろと思考錯誤して得た知識・知恵である。しかし、これからは、高度な知識の習得だけではなく、深い教養と研ぎ澄まされた感性に基づく創造力が、高いレベルで求められる。そのためには、若い頃からいろいろな物事に興味を持ち、多種多様な文化・価値観に触れて交流を深め、知性と感性を磨きながら、広い視野と深い洞察力を身に付けることが大切である。

情報通信工学に関する研究教育とワインとオーディオに対する情熱は、私の活力の源泉である。「いつでも何処でも誰とでも」情報をやり取りできる時代になったことは、経済性・利便性の面では誠に喜ばしく、研究者として多少なりとも貢献できたことは嬉しい。しかし、心地よいクラシック音楽が奏でられる優雅な雰囲気で、おいしいワインを、ゆったりと一緒に味わう「今だけ此処だけあなただけ」の希少な機会を得るほうが、はるかに心がときめく。

ワインセラーやオーディオ装置等を備えた、気品のある情報（情けに報い）通信（心を通い合わせる）環境の整備を行ってきた。年2回開催のワインパーティーは、最近では100人を超える方が参加され、憩いのサロンとして好評を頂いている。また、ワインエキスパートとして、国際会議に出かけてはおいしいワインを探し求め、学内・学会・プライベートで、機会あるたびに皆と一緒に味わい語らうことも、大きな楽しみになっている。素晴らしい出会いは人生を豊かにする。「教育の秘訣は、学生を導いて、一方では彼らの仕事に対する愛好心と熟練とを得させ、他方では適当な時期に、何か偉大な事柄に生涯を捧げる決意を抱かせるように仕向けることである」というヒルティの言葉を座右の銘として、これからも心豊かな（できればワイン好きな）人材を育てていきたい。



還暦祝いで頂いた、シャトー・マルゴー、リーデルグラス、オリジナルネクタイ

## 談話室

教員によるエッセイコーナー